

総務企画常任委員会研修報告

当委員会は2月1日に視察研修を行いました。

那珂川町で新庁舎整備について研修。計画段階での総事業費は約24億円（財源は基金と合併特例債で概ね半分ずつを予定）。平成23年に検討委員会を設置。2年をかけ町民との合意形成を図り、旧庁舎の耐震・新築など多様な観点と選択肢から検討を重ね答申。町有林の木材を積極的に活用し庁舎の特色づくりに活かしています。

茂木町では平成8年に栃木県第1号の「道の駅もてぎ」をオープン。地域資源を生かした6次産業化への徹底した拘（こだわり）は来場者を魅了し、全国モデル道の駅への選定・ゆづ塩ラーメンの道ー1グランプリ獲得・150万人を超える年間来場者等と驚異的な成果を上げている。地域振興と防災の拠点としたまちづくりは圧巻です。

隣接する両町の先進的取組みから強い刺激を受け、有意義な研修となりました。

総務企画常任委員会委員会 委員長 沼田 邦彦



那珂川町の新庁舎を視察する議員